



# 地域研究特講（欧州）

2019年11月7日



担当 入稻福 智

## 11月7日の練習問題の模範解答

問題1 以下の問題に答えなさい（テキスト5、15、46頁参照）。

- (1) マルティン・ルター（1483～1546年）が、教会に「九十五ヵ条の提題」を貼り出し、宗教改革を始めた年月を答えなさい。

**1517年10月31日（カトリックの祝日である万聖節の前日）**

- (2) ルターが宗教改革を開始した理由を簡潔に説明しなさい。

**当時の教会が腐敗していたから（免罪符ないし贖宥状の販売をしていたから）**

- (3) 宗教改革を機に新たに生まれたキリスト教の宗派は何というか答えなさい。

**プロテスタント**

- (4) ルターは、一般にドイツ人と呼ばれているが、当時、ドイツという名称の国は存在せず、ルターはザクセンで生まれ、活動していた。ドイツ地方には、その他に、バイエルン、フランケン、シュバーベン、ウェストファーレン、オーストリアといった多くの国（諸邦）があったが、それらを束ねる組織として機能していた国の名称を答えなさい。

**神聖ローマ帝国**

- (5) ドイツ統一が実現したのは何年か、また、それは何という国を中心にして達成されたか答えなさい。

**1871年 プロイセン**

問題 2 学籍番号の下一桁に注意し、以下の問題に答えなさい。

(1) 学籍番号の下一桁が 0~4 の学生の問題

- ① 右の地図でオーストリアの位置に丸印を付けなさい。
- ② オーストリアが EU に加盟した年月と、同国の EU 加盟にはどのような意義が込められていたか答えなさい。

1995 年元旦

1938 年 3 月、ドイツに併合され、ドイツと共に第 2 次世界大戦を戦ったオーストリアは、戦後もドイツに留まることを望んだが、連合国（米英仏ソ）に承認されなかったため、中立国となった。そのため、西側の国際機関である EU にも加盟していなかったが、1989 年に冷戦が終結し、中立を維持する意義が薄れたため、1995 年元旦、EU に加盟した。



(2) 学籍番号の下一桁が 5~9 の学生の問題

- ① 右の地図でノルウェーの位置に丸印を付けなさい。
- ② ノルウェーが EU に加盟していない理由を 2 つ挙げなさい
  - ・ノルウェーは石油産出国であり、経済的に潤っているため。
  - ・EU 加盟国は EU に漁業に関する権限を完全に委譲している。そのため、加盟国は漁業問題（例えば漁獲量の決定）について独自に決定することはできない。ノルウェーは漁業国であり、EU に加盟すれば、漁業について独自に決定できなくなるため（他の漁業国であるイギリスやスペインとの対立が予想されるから）

